

第7号議案 2006年度事業計画（案）承認の件

当協会は、主にインターネットプロバイダーを中心としたインターネット関連事業を行っている事業者団体として活発な活動をしており、その活動は、重要性が益々高くなってきている。

今年度も引き続き、諸官庁等の各委員会への積極的な参加、及び社会貢献活動を実施していくこととする。また、協会の活動の中心は部会であり、本年度も各部会活動を支援する形で事業を行う。

協会活動計画

協会全体として、次の活動に取り組む

- 1) 行政や関連団体などの動向把握と意見の反映
 - ・ 次世代ネットワーク関連の各委員会への参加及び会員への情報還元
 - ・ 行政や関係機関による施策や法案の作成、及びガイドラインの制定などに対する検討会の開催と意見具申
- 2) 業界の課題等への取組み
 - ・ 帯広会議 10 周年記念事業（地域ネットワーク連携ワークショップの開催）
 - ・ プロバイダー等関連調査
- 3) 国際交流
 - ・ 韓国インターネットサービスプロバイダー協会（KISPA）との交流
 - ・ ICANN 等の参加による情報収集と意見交換
- 4) 社会貢献活動
 - ・ e-ネットキャラバンの支援
 - ・ セキュリティ集中啓発への参加
- 5) 会員・広報サービス
 - ・ 会報の年間 3 回発行
 - ・ 協会パンフレットの改訂
 - ・ Web の更新による当協会活動内容の周知活動。
 - ・ メールサーバの運用による会員相互の情報交換の場を提供

部会活動計画

1. 行政法律部会

部会長	甲田 博正	NTT コミュニケーションズ株式会社
副部会長	野口 尚志	EditNet 株式会社
副部会長	木村 孝	ニフティ株式会社

前年度に引き続き当部会では、インターネットプロバイダーに係わる諸問題の法整備等に対して、行政等への意見具申や協会会員への情報提供などを活動の目的として活動をしてまいります。

昨年度、インターネット時代における「通信の秘密」について勉強会やパネルディスカッションを行い「通信の秘密」が今日のインターネットサービスにどのような影響を与えているか、また、今後どう対応していくべきなのかなどを幅広く議論しました。「通信の秘密」については、我々電気通信事業者にとって永遠な課題となることから、引き続き現状と照らし合わせて、勉強会等を行いながら議論していきたいと思っております。

また、ネット上の行為に関する法制度も徐々に整いつつありますが、日々予想外の問題が出てきているのがインターネットです。このような問題に迅速、且つ適切に対応するため関係省庁とも連携を図りながら、利用者の皆さんの安全・安心な利用とインターネット業界の適正な発展を目指して取り組んでいきたいと考えております。

2006 年度においては、以下を中心に活動してまいります。多数の皆さんのご参加とご協力をお願いいたします。

法律勉強会・意見交換会の開催

法律に関する勉強会・意見交換会を 3 回程度開催する。

- ・ 「通信の秘密」について
- ・ 現行の法制度についての実務上の課題等に関する勉強会 等

Internet Week 2006 への参加する

2006 年度に部会活動で行ったこと、問題点等を講演やパネルディスカッションを通じて、情報提供や議論を行うとともに、JAIPA の活動を広く認知させる。

その他の活動

- ・ 「インターネットの安定的な運用に向けた検討協議会（仮称）」の実施
総務省と協力し「通信の秘密」に関する課題と問題解決に向けた一定の方向性を検討する会に参加することとする。
- ・ 各省庁などの公的機関や関係諸団体へインターネットプロバイダーの立場で意見具

申をする。特に総務省関係の会議の「インターネット上の違法・有害情報に関する連絡会」「プロバイダによる本人確認の在り方に関する連絡会」「プロバイダ責任制限法関係」他に出席し、協会内での情報共有をしていく。

2. 地域 ISP 部会

部会長	高橋 佑至	株式会社ネットフォレスト
副部会長	鎌倉 忍	ディーシーエヌ株式会社
副部会長	晋山 孝善	株式会社仙南情報技術センター

当部会では、「当部会では、メンバーが地域的に離れていることから全国各地で「地域 ISP の集い」を行って、それぞれの土地での取り組み状況を発表したり、情報交換を兼ねた交流を行っている。「地域 ISP の集い」と毎月の会議開催で課題にあがったものを検討し解決策を見出していくことを目的としていきます。

また、協会の前身である地域プロバイダー協会の発足の契機となった地域プロバイダー帯広会議の開催から 10 年になるのを記念して、協会全体でイベントを行います。このイベントについては地域間相互接続プロジェクト（RIBBⅡ）との共催となる予定です。当部会ではプログラム部門を担当して、インターネットの 10 年、今後のインターネットとプロバイダーの有り方等、盛りだくさんのセッションを企画して、会員の方々に提供できたらと考えております。さらに、以下の施策を中心に活動してまいります。多数の皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

- ・ 地域 ISP 経営研究 WG

地域 ISP の経営における問題点を話し合い、解決策を見出していく。合併や統合、共同利用等

- ・ インターネットの安全・安心教室

インターネットによるさまざまな事件が発生する昨今、危ないから子供たちにインターネット利用させないという考えが出てきている。インターネットが及ぼす影響は悪い面でもいい面でも大きいと考える。インターネットを安全で安心して利用するための啓発活動を各地域で行えるようにする。インターネットの便利で楽しく、ためになる部分を協会としても発信していきたい。

- ・ 地域 ISP の集い

毎年行われている「地域 ISP の集い」を行い、前年同様に普段なかなか参加できない方々との情報交換と地域の問題などを検討する場所を提供したい。

3. レンタルサーバ部会

部会長	青山 満	GMO インターネット株式会社
副部会長	西 紀之	株式会社ヒューメリア
副部会長	村越 裕之	コスモメディア株式会社

昨年度から引き続き、レンタルサーバ部会メンバーが実行委員会となって行っている、「HOSTING-PRO 2006」のイベントにパネルディスカッションで参加します。ホスティング事業者が利用者により安全・安心に使えるようにどう対応していけばいいか、そのためのコストの関係や問題点などを『「切れない」、「落ちない」ノンストップサービスを実現する!』として、検討していきます。ホスティング市場の健全性を高め、業界の発展を促すため、その他、以下の施策を中心に活動してまいります。多数の皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

- ・ 「HOSTING-PRO2006」参加

日時：2006年7月6日（木）10:00～17:30

場所：青山 TEPIA

パネルディスカッション

『「切れない」、「落ちない」ノンストップサービスを実現する!』

を行い、そのときの結果や、課題を元にして、何らかの成果物を出すようにする。

- ・ SSL 認証のホスティング事業との関係について
- ・ 業界用語の標準化 Web
現在作成されている Web の更新等

4. ユーザー利用促進部会

部会長	黒澤 健司	KDDI 株式会社
副部会長	神崎 茂樹	NTT コミュニケーションズ株式会社
副部会長	持麿 裕之	日本電気株式会社

すでにブロードバンド環境が整い、光回線を利用した映像コンテンツの配信やインターネットについて様々な活用形態が広がりつつあります。当部会では、本年度の目的として、以下の施策を中心に活動してまいります。多数の皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

- ・ 高齢者向けインターネット利用促進について
高齢者が関係する他団体に協力をいただき、アンケートを実施。高齢者にどのようにインターネットを使ってもらうかを検証する。また、政府として“行政に対するオンライン申請や届出の利用率を現状の数%から50%以上にするとすることを発表しており、当然高齢者向けの利用も増えると想定できる。高齢者利用について、先の現状調査およびオンライン申請、防犯対策等について意見交換を行う。
- ・ 「安全・安心・便利」をコンセプトにして利用者がインターネットを安心して快適に利用できるように「インターネットを楽しむために」のWebの改訂をして、発信していく。
- ・ 単独ISPでは解決の難しいもしくは、業界全体の健全な発展を阻害する問題に対し積極的に関与し、協会として意見具申を行う。
- ・ インターネットのさらなる発展のため、部会員および協会員が興味のあるもしくは、現在注目されている技術やサービスに関する勉強会を適宜開催し、多様なサービスや新たなビジネスモデルの開拓・展開に寄与していく。

5. 新規部会・ワーキンググループについて

・ 情報セキュリティ部会

近年における情報通信技術、特にその中でもインターネット関連分野の発達は目覚しく、それが私たちの生活を支える社会基盤としての重要性を日々増しております。しかしその一方で、個人情報漏洩や、フィッシング詐欺、また重要なシステムの予せぬ停止等が連日のようにメディアに取り上げられる中、情報セキュリティの安全性、すなわち機密性、完全性、可用性をいかに確保していくかが、インターネットに関わる方全ての方にとっての大きな関心事となって参りました。

このような今日状況において、プライバシー情報を初めとする重要な情報資産を預かり、またそれら情報の流通に関わる業者の立場から、安全・安心なネットワーク社会の実現を通して顧客の信頼と期待に応えていくことが、我々インターネットプロバイダーとその関連業界の重要な社会的責務であると考えます。

しかしながら、一口に「情報セキュリティ」と言ってもその構成要素は非常に広範にわたり（図1参照）、かつ全ての要素が連携されることで初めて効果的な対策となり得ることから、これらを統括的に取り扱う場を持つことが望まれます。また業界としての情報セキュリティに関する取り組みには、関連省庁及び外郭団体等を初めとする他団体との協調・協力が重要不可欠であり、本部会にはそれらに対する窓口としての役割が期待されます。

以上のような視点から、インターネット関連事業者として望まれる情報セキュリティに関する専門知識の向上と情報の交換、及び啓蒙活動を目的として本部会の設立をしました。

・ インターネットガバナンスワーキンググループ

インターネットの普及にともない、日本においてもかなりの数のドメイン名が登録されており実際に使用されています。ドメイン名についても **whois** への開示、プライバシー保護、サイバースクワッター、UDRP 等々、様々な問題や解決されなければならない事柄があるわけですが、日本においてはこれまでこれらドメイン名などのインターネットの資源管理に関連する話題について議論を行う場所がありませんでした。当協会では、このような問題に取り組み、必要に応じて政府への働きかけを行う等、積極的に関与していきたいと考えています。

つきましては、**JAIPA** 内に新しいワーキンググループを作り議論を進めていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。主に以下のような案件に対して考えていきたいと考えております。

1. ドメイン名に関して議論を行う場の提供。
2. ドメイン名登録についての現状の把握やドメイン名に関するポリシーについて日本（国策）として考えたときどうあるべきか。
3. サイバースクワッター問題に関する議論
4. ドメイン名を含むインターネットガバナンスに関して（問題の把握、議論。）
5. **IGF** に関して
6. 今後の問題